

## 中部インテリアデザイン連絡会 第10回リレーセミナー

### 『クリエイター、デザイナーの視点と線』

講師 (株)ラダックデザインアソシエーツ代表取締役 垂見和彦氏

中部事業支部 宮地敦子

今回のリレーセミナー、垂見さんの『クリエイター、デザイナーの視点と線』というタイトル、デザイナーとしての物の見方、捉え方をFACEBOOKのツールを利用してのセミナーでした。

彼の撮った写真には、現場の写真もあったり、奥さまが生けたお花、ご自宅の一場面、何気ない風景や自然を捉えたもの、私が一番印象に残ったのは奥さまの喜ぶ姿をイラストに描いた1枚、それはまるでエルメスのニュースレターのようにおしゃれでした、そのいろいろな写真に各タイトルがつけてあるのですが、これがまたなんとも洒落たタイトルであったり、写真に合わせてとても優雅なタイトルであったり、時にはお言葉遊び（いわゆる親父ギャクのような）タイトルであったりと、これもとてもおもしろかったです。

日々みている物を1枚の写真にして、それに意味をつけFacebookにアップすることは、ショートプレゼンテーションだということだそうです。コメントをもらったり、ジャッジされたりしていると、常に大切にしているものは“感性”そして“想い”ということがよく伝わってきました。

垂見さんが見ている、いつもの風景、何気ない風景、そのセンスのいい写真からもあのインテリアデザインが生まれてくるのでしょう。今更ながらですが、写真というものは、撮影の仕方により、その人のセンスによっても全然ちがう1枚になりますよね、そんな1デザイナーの視点を、捉え方を、感じる事ができたセミナーでした。

